とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部50円　1カ月150円　1カ年前納1,500円

# 補助金は不当支出

## 杉田町長に是正を勧告

### 住民監査の結果を公表

（北勝光生会）

陸別町監査委員の吉田英一、宮古秀の両氏は、昨年十二月二十七日付の矢鋪正信氏からの社会福祉法人「北勝光生会」設立準備委員会にたいする十万円の町費補助は不当支出であるとの住民監査請求について監査にあたつていましたが、請求どおりに不当支出として杉田町長にたいして二月末日までに是正措置を講じるよう勧告するとともに、一日付で監査の結果を公表しましたが、その要旨はつぎのとおりです。

### 正当な補助団体でない

一、地方自治法才二三二条の二（寄付または補助）にいう「公益上必要がある場合」を認定するのは一応長および議会であり、当該団体に対する補助金が予算審議の段階で包括的に可決されても、長はその執行にあたり地方自治法才二三二条の二にもとずく「公益上必要がある場合」の認定の責務があり、また議会は長の執行の適否を決算審議によつて認定すべきと思うものである。

二、しかしながら、公益上必要があるかどうかの認定は全くの自由裁量行為でないから「客観的にも公益上必要であると認められなければならない」とされている観点からすると、社会福祉法人「北勝光生会」設立準備委員会に交付した補助金の措置は、違法ではないが行政上適当でなく不当支出と判断するものである。

三、当該団体の発足は、四十七年七月二十日、町が町内諸団体の長および有識者の出席を求め、町が意図である重度精神薄弱者更生事業の推進、設立のため法人組織としてすすめることをはかり、出席者をもつて社会福祉法人「北勝光生会」設立準備委員会の成立をみたものである、したがつて当該団体はこの時点から町の経過をうけて自らの発意と行動のもとに推進する自主性を有するべきであるが、実際には一連の業務は依然として旧態であつて事務局を町機関としており、長の諮問機関的存在にとどまつていて、当該団体が町から業務を継承して自らの手で遂行している事実を見出すことができなかつた。

四、かかる体制のもとにある当該団体に補助行為がなされたことは、四十七年九月二十八日陸別町議会才三回定例会において一般会計補正予算（才五号）に包括されている当該団体に対する補助金に議会の異議もなかつたこと、および前述のように当該団体と町がその業務においてイコールの関係で成立してきていることから補助金交付の決定にあたつて補助金というものの本来の姿を見失ない当該団体の資質をチェックすることなく安易に惰した故であり、行政上の配慮に欠け執行体制に起因するものである遺憾に思うところである。

五、以上のことから補助金交付の時期は尚早に過ぎるもので、なお当該団体の資質を団体本来の姿に指導しかつ業務の実績のつみ重ねを把握したうえで、あらためて判断すべきが妥当である。

以上

### 監査の実施

一、措置請求書に記載されている事項および請求人陳述の内容等によれば、監査請求の趣旨は、現状においては「北勝光生会設立準備委員会」なる団体は、地方自治法才二三二条の二による正当なる補助団体とは認められず、すでに支出交付なされた十万円は不当支出であると主張

二、請求人にたいしては一月十一日に出頭を求めて陳述の機会をあたえた

三、監査にあたり事情を聴取したもの

陸別町長杉田稔氏
民生課長峰田正四氏
福祉係長久保憲嗣氏
北勝光生会代表竹内千代蔵氏

### 監査結果

監査の結果は、社会福祉法人「北勝光生会」設立準備委員会に交付した補助金十万円に関しては請求の理由があるものと思われる、したがつて地方自治法才二四二条才三項の規定にもとずき陸別町長に対し二月末日までに必要な是正措置を講じるよう勧告する

### その理由

道南方面の各施設見聞もあつて、北勝光生会への補助金は異議なく議決。

○…たまたまこのときに欠席の矢鋪議員が異議ありとして一住民の立場で監査委員にたいして杉田町長への措置を請求。

○…たかが十万円くらいでそれも福祉事業の準備のためなのにヤボな監査請求ーといつた声も。

○…しかしガラスばりの町財政であるからには、どこから突つかれても法令に照らしてスキのないのが建て前で、ウルサ型の矢鋪議員といえどもよりよき町行政をめざしてのとりくみぶりで、みながみなことなかれのマアマア主義がまかりとおつては困るというもの。

○…町長が任命の監査委員両氏ともに是々非々主義で異例の町長勧告におよんだのは陸別町ならではの風景で、どこかの町のように町長に都合の悪い監査請求はすべて却下というゞ御用監査委員〃でなかつたことを証明したもの。

## ヤボな監査というがー

○…なにしろ杉田町政にとつてゞ虎の子〃の福祉新施策で、二年ほど前から運動をはじめている上士幌町あたりを出し抜いて厚生省から本年度建設の明るい見通しが得られた重度精薄施設

○…昨年は議会の産業厚生委員会によるルベシベの施設調査から、全議員による立派な工事をと期待もし安心をしていたところ、落札の名義は名前だけで工事は下請けに任せつ放しで、宮坂建設として顔を見せるのは工事代金をとりにくるときだけということ。

○…町としては大事をとつて大手業者に期待しての発注でしたが、先方にすれば六千万円程度のものはハシタ工事？として問題にしていないようで、ピンハネで下請けまわしということであるならば、なにもわざわざ大手業者を指名に加える必要もないわけ。

○…大誉地小、上利別中ともに本年度はそれぞれ体育館などの才二期工事が予定されていますが、あてにならない大手業者よりも責任感のある地元業者による方が安心だということを再認識させたようなもので、明年度からの西小の新築にしても、たとえ五億円以上の大工事だとしても　地元業者による共同企業体でやりこなせるのではーといつた声もあるほど。

# 「検定はできません」

## 大誉地小の新築工事

足寄町の大誉地区の小学校と中学校、上利別地区の小学校と中学校の四校を統合して、大誉地に小学校、上利別に中学校のそれぞれ統合校舎を新築して、この四月から三台のスクールバスによつて相互に乗り入れ通学するばかりとなつていますが、上利別中学校の方は町内の森下組（森下光吉社長）によつて工期内に立派にできあがつのに、大誉地小学校の方は十勝管内切つての大手業者である宮坂建設（河西十四郎社長）が請負つたのにもかかわらずその出来栄えが悪く、暮の竣功検定にさいしては富田助役、加藤収入役、松平建設課長らが立会つた結果、『これでは検定できない』として、数多くの手直し個所を指示して工事費残金二千二百六十一万円の支払いをストップさせていますが果して四月新学期からの使用に間に合うかどうかが心配されています。

この大誉地小学校の工事ぶりが問題になつたのは、昨年十一月十七日の臨時町議会での大野議員による緊急質問からでしたが、そのときは松平建設課長は『窓ワクのサッシの入荷がおくれたこと、周囲が乱雑だが工事は特に粗悪ではない』と答弁、久保田議員にしても『建設委員会でみたが、粗悪とは思わない』として問題にしなかつたもので、十二月の定例議会における宮川建設委員長の報告でも『コンクリート打ち込みのさい一部にジャンカができフクラミがみられ手直ししたが、監督上注意すべきである』として、業者よりも工事監督の町職員を責めていたような形でしたが、監督といえども四六時中一工事現場につききりでいるわけにもいかず、監督がいようがいまいが要するに業者が設計仕様書どおりにやつているかどうかですが、実状は、コンクリート床が雑然としており、フローリング床が一定しておらず、戸や窓かピッタリしておらず目のとどかない個所に手抜きがあるなど、すぐとなりで同じ時期に同じ規模の上利別中学校は森下組によつて順調に完成しているだけに、あまりにも対照的といえます。

## あてにならぬ大手業者

○…大誉地小、上利別中の統合校舎はともに六千万円以上の大工事とあつて、町内業者だけの指名入札では安心できないとばかりに帯広市の大手業者も指名に加えたもの。

○…幸い大誉地小は管内有数の大手宮坂建設が落札、しかも河西社長は管内建設業協会の会長であり、さぞ

## 足寄ー陸別間の舗装完了へ

帯広開発建設部では、本年度は前年比三二％増の百六十五億円の規模で建設事業をおこないますが、国道二四一号線は七、一㌔の改良で全改良を完了して七、三㌔を舗装するほか、足寄町の両国橋（百五㍍）を本年から二カ年で架け替えします。

国道二四二号線は四、六㌔の改良、五、八㌔の舗装によつて足寄ー陸別間の全舗装が完了します。

なお、帯広ー足寄間高速道路（国土横断幹線自動車道）の調査も実施することになります。

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T 二五一二

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊐自動車　新津はなや
足寄町西三区　T 二六二六

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T 二八五五

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T 二三四五

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T 二四二八

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二三二一番

技術に生きる！
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642